

子どもから大人までクラシック音楽を楽しむ



芦別120周年・市制施行60周年の記念事業として「北の音楽隊～オーケストラと大冒険」が8月24日、市民会館で開催されました。

これは、クラシック音楽を小さな子どもからお年寄りまで気軽に楽しんでもらおう、とNHK札幌放送局と札幌交響楽団、芦別市が共催したものです。

当日は、タレントの岩尾亮さんと絵本作家・そらさんの司会、ナレーショ

北の音楽隊～オーケストラと大冒険

ンで、プロコフィエフ作曲の「ピーターとおおかみ」などが演奏されたほか、7月13日に開催されたワークショップで子どもたちが音楽を聞いて自由にイメージして描いた絵が、チャイコフスキー作曲のくるみ割り人形「花のワルツ」の演奏に合わせてステージ上のスクリーンに映し出されるなど、会場を埋めた皆さんはひと味違った演奏会を楽しんでいました。

第40回農業まつりが盛大に開催される

8月24日と25日の2日間、芦別産業フェスティバル・農業まつりが北大通お祭り広場で盛大に開催されました。

収穫の秋に感謝し、市民の皆さんに地場農産物への理解を深めてもらおうと、昭和49年から毎年開催され、今年で40回目。

当日は、メロン、ジャガイモをはじめとする芦別を代表する農産物の販売や、花ゆり球根の無料配布や道産牛の試食会に大勢の皆さんが行列をつくりました。また、ステージでは子どもたちのバレエやダンスなども行われ、イベントに花を添えていました。



芦別小学校で2000年に埋設したタイムカプセルを開封



今年で開校110周年を迎えた芦別小学校で9月1日、2000（平成12）年度同校に在籍した児童が埋めたタイムカプセルの発掘・開封式が行われました。

このタイムカプセルは、当時のPTAの発案で、1年生から6年生まで全校児童が、「未来の自分への手紙」やクラスごとの寄せ書きを集めて、同校低学年用玄

関前の庭に埋めたものです。

発掘・開封式では20歳から26歳と、すっかり大人になった当時の在校生など、約50人が集まり、発掘された箱の中から自分や友人の「手紙」を見つけては大喜び。中には、「まだまだ勉強中。目標に向かって頑張っています」と語る姿も見られました。

ジャズボーカルの魅力をたっぷり楽しむ 芦中吹奏楽部も共演

9月15日、「ほくよう星の降る里ジャズコンサート」が市民会館で開催されました。これは、芦別120周年・市制施行60周年を記念して北洋銀行が主催。サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会と芦別市などが共催したもので、札幌市を拠点に国内外で活躍している女性ジャズボーカリストのMizuhōさんが、サクソ、

ギターの伴奏を従えて出演。「オーバー・ザ・レインボー」やジャズ風にアレンジした「ソーラン節」など10曲余りを歌い上げました。

また、芦別中学校吹奏楽部の生徒も出演し、「シング・シング・シング」を一緒に演奏。会場を埋めた聴衆から盛大な拍手が贈られました。

